


ふりがな 氏名	かわい ゆか 川合 由香	都道府県 広島県	
所属/肩書	広島県立府中高等学校 教諭（地理歴史科）		
私のESD活動	「広い視野をもって自分の生活や社会に目を向け、積極的に社会に参加できる生徒を育てる」活動		

活動の概要（特に、取り組みの独創性、革新性、成果について説明してください）

私は、高校教師という立場から、学校教育現場でESD活動に取り組んでいます。特に今年度は、担当している地理の授業や、2学年の総合的な学習の時間でESD活動を取り入れることを意識しています。

具体的に、まず地理の授業の中でとくに大切にしてきたテーマは、「異文化理解」と「防災」です。「異文化理解」については、世界の生活文化や宗教を取り上げる際に、海外の文化を見世物のように提示しないように気を付け、個々の文化に固有の価値観があることや多様な視点で物事を捉えることの大切さを伝えるようにしています。また、異文化間のコミュニケーションで起こり得る問題点やその改善点を考える授業を、『ひょうたん島問題』という教材を用いて行いました。一方「防災」については、レクリエーション等で校外へ行く前に、地形図の学習と合わせて、「ここで地震にあったら、どのように行動するか」と考える機会を設けるよう努めました。

また総合的な学習の時間では、学校が所属する地域（広島県府中市）について、生徒たちが自分たちの経験だけでなく、様々なデータや市の基本構想計画、アンケート調査などを集めた上で地域の課題を抽出し、それらの課題に対してどのような解決策があるかを考える活動を行いました。活動の締めくくりとして、各々が考えた解決策を市役所職員の前で発表し、講評を得る機会も設けました。その結果、生徒は主観的な考えだけでなく、多面的に物事を捉える大切さを得たと感じています。

ESD活動をさらに深めるために、今後どのような活動を展開していこうと考えていますか？またESD全体（地域や日本国内、国際）の発展にどのように貢献したいと思いますか？

私は、今後も学校教育現場を中心に積極的にESD活動を展開していきたいです。まず何よりも、地理の授業のあらゆる単元で、ESDの考え方を取り入れた発問や活動を積極的に取り入れたいです。また地理の授業に限らず、総合的な学習の時間などの様々な教育活動において、ESD活動を率先して行う教員になりたいです。その際は、とくに「防災」や「地域活性化」というテーマを中心に、学校と地域とをつなぐような活動を展開したいです。そして、このような教育活動を行っていく中で、教科の知識に捉われずに、多様な視点を持って社会に積極的に関わろうとする子どもを育てたいです。そのためには、私自身が多様な視点を持ち、あらゆる教育活動の場でESD活動を展開できる教師になる必要があります。しかしながら、アイデアや授業構成力が不十分なためにESD活動をまだまだ実践できていないことが課題であり、具体的にどのように取り組めばよいのかという不安もあります。今回のユース・コンファレンスで様々なESD活動を知ったり学んだりし、この課題を克服してより多様なESD活動を学校で実践していきたいです。そして今度は、私と同じようにESD活動に不安を抱く教師がいれば、情報を提供するなどして、ESD活動を行いたいと考える教師を手助けできる存在になりたいです。そうして、ESD活動の広がりにも少しでも貢献できればと考えます。